

資料提供（広報をお願いします）

資料提供	
平成29年 4月14日	
担当課 担当者	(地独) 鳥取県産業技術センター 食品開発研究所 副所長 有福 (アツカ) 専門員 青木 (アキ)・松尾 (マツオ)
電 話	0 8 5 9 - 4 4 - 6 1 2 1

平成29年度「食品の衛生管理技術向上ワークショップ研修」の開催について 研修テーマ『HACCP前提条件プログラム（一般的衛生管理）を構築する』

地方独立行政法人鳥取県産業技術センター食品開発研究所〔所長 小谷 幸敏 (コガニ ユキヒコ)〕では、『食品の衛生管理技術向上ワークショップ研修』を下記のとおり開催します。

食品の安全安心が社会的に求められている昨今、食品関連企業の皆様には食品の衛生管理やHACCPシステムの導入が一層重要な課題となっています。

今回、当研究所では、これからHACCPシステムの構築を目指されている食品製造事業者等に対して、「前提条件プログラム（一般的衛生管理）」及び「HACCPシステム」を構築することができる人材育成のために、ワークショップ形式の研修を下記のとおり開催します。

記

- 1 日 時 平成29年5月12日（金）、5月19日（金）、6月 1日（木）、6月23日（金）
7月 7日（金）、7月14日（金）、7月21日（金） の7日間
午後1時30分から午後4時30分
- 2 会 場 倉吉未来中心 セミナールーム7
〒682-0816 倉吉市駄経寺町212-5
TEL 0858-23-5390
- 3 対 象 者 HACCP前提条件プログラム（一般的衛生管理）とHACCPシステム構築に、これから取り組もうとしている県内食品製造事業者等の衛生管理担当者、HACCPリーダー、リーダー候補者、工場責任者等
- 4 内 容
タイトル HACCP前提条件プログラム（一般的衛生管理）を構築する
講 師 ミカミ食の安全相談所 所長 三上 一治 (ミカミ カズハル) 氏
概 要 ①前提条件プログラムとは 【座学】
②前提条件プログラム（一般的衛生管理）の作成 【座学・ワークショップ】
③HACCPプランとは 【座学・ワークショップ】
- 5 参 加 料 無料
- 6 定 員 10社20名程度（各社2名参加を基本とし、1名でも可。3名以上は要相談）
- 7 申 込 方 法 下記担当者へファクシミリ又は電子メールで、5月8日（月）までにお申し込み下さい。
(地独) 鳥取県産業技術センター 食品開発研究所
食の安全・安心プロジェクト推進事業担当専門員 青木 公平・松尾 哲
・ファクシミリ：0859-44-0397
・電子メール： aoki-ko@pref.tottori.lg.jp
- 8 問 合 先 上記の資料提供担当者まで御連絡ください。
- 9 そ の 他 昭和52年大山乳業農業協同組合に入協。販売課長・製造部次長・品質管理部次長を歴
(講師紹介) 任。この間、食品衛生指導者として、7S活動・HACCP導入・ISO22000導入・鳥取県クリーンパス導入などに携わり、平成24年より監査室勤務。HACCP指導・ISO22000内部監査・FSSC22000導入案策定を指導。その実践活動の内容は、食品衛生管理関連の雑誌に広く紹介されている。平成26～28年度には鳥取県食の安全・安心プロジェクト推進アドバイザーに登録され、鳥取県食品関連企業の鳥取県版HACCP（鳥取県HACCP適合施設認定制度）構築を支援。平成28年度からは鳥取県HACCP推進専門員にも登録。